

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	ある程度、一人ひとりの思いや願いの把握をし利用者さま本意での対応を心掛け日々支援にあたっているが、目が離せなかったり、手がかかってしまう利用者様が優先となり全員に対応し把握はしていても対応が出来ていないのが現状である。	日々の生活の中で、少しの時間でも全員の思いや願いに対応できるよう職員間の連携をとっていく。	・利用者さまとのコミュニケーションをとり中で、より深い部分での思いや願いを感じとる。 ・その日の利用者様の状況及び状態を把握し職員間で連携をとり、一人ひとりとかかわる時間を短時間でも良いので持つようにする。	12ヶ月
2	36	職員から見て、ほぼ満足しているかと思うが声の掛け方、トーン、言葉遣いは、コミュニケーションの中で大切なものとして考えている。	言葉は認知症のグループホームではコミュニケーションの大切な手段である。その時の状況を知って安心できる話方を学ぶ。	言葉は利用者さまとの関係をより良いものとしていく。その方をかけがえのない存在として個人を尊重して関係を作り上げていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。